

令和3年度部局運営方針実績

市民保健部

運営方針

健康で安心して暮らせるまちづくり

市民の誰もが、生涯にわたり心身ともに健やかで、安心して過ごせるまちをめざし、ライフステージに応じた様々な支援に取り組みます。

市民の健康を守るため、新型コロナウイルス対策に全力で取り組むとともに、市民の主体的な健康づくりを支援する環境整備に努めます。

また、市民一人ひとりの暮らし・生きがい・地域をともに創る「地域共生社会」の実現に向けた取り組みを推進するとともに、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・福祉をはじめ、地域における支えあい体制や介護サービス基盤の整備を図ります。

さらに、窓口業務の利便性向上と国民健康保険・介護保険などの社会保障制度の適正運営に努めます。

【重点施策とめざす方向】

コロナワクチン接種の円滑な実施と新型コロナウイルス肺炎への対応

市民の安全・安心な生活を守るため、コロナワクチンを希望する全ての市民に、接種できる体制の構築に取り組みます。

また、保健所や医療機関等の関係機関と連携し、新型コロナウイルス肺炎に対する各種相談や感染予防対策の普及・啓発を行います。



【実績】

目標どおり達成

コロナワクチンについては、一定期間を経過した市民から順次、接種券を送付し、個別接種や集団接種等による速やかなワクチン接種に努めました。また、SNSなどを活用し、若年層の接種促進を図りました。

感染対策については、保健所や関係機関と連携し、自宅療養者等に対する相談や、感染予防対策グッズの配布を行うとともに、妊婦へは安心して健診等を受けていただくために、感染予防対策グッズに加え、タクシーチケットの利用助成券を配布し支援に努めました。

第4次地域福祉計画の推進

地域共生社会の実現をめざし、地域の多様な主体が連携・協働し、地域生活課題の解決や地域づくりに取り組めるよう、地域福祉活動団体への支援や課題解決の場づくりを進めます。

また、包括的支援体制構築に向け、関係課・機関との連携を深めながら、その仕組みづくりに取り組みます。



目標どおり達成

第4次地域福祉計画に基づき、多様な主体が連携・協働し、地域生活課題の解決や地域づくりに取り組むための場づくりを行うとともに、地域福祉活動団体への支援を進めました。

また、関係課・機関と連携を深めながら、令和4年度から実施する重層的支援体制整備への移行準備事業に向けた仕組みづくりを進めました。

第8期高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画の推進

第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、「認知症と共に生きるまちづくり」の実現に向けた取り組みをはじめ、医療・介護・福祉の連携推進や介護予防の推進、地域における支えあい体制の整備に継続して取り組みます。

また、特別養護老人ホームなど介護サービス基盤の整備推進を図ります。



目標どおり達成

第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、医療・介護・福祉の連携を推進するとともに、住民主体の介護予防や生活支援活動への支援に取り組みました。また「認知症と共に生きるまちづくり条例」を制定し、認知症の啓発や見守り事業等の新規事業に取り組みました。

さらに、介護サービス基盤整備のために、広域型特養（50床）、地域密着型特養（29床）などの事業者を決定し、整備に向けて事業を推進しました。

市民窓口の総合窓口化とアウトソーシングの安定運営

令和3年3月から市民窓口の総合窓口化とアウトソーシングを本格的に導入しました。

今後、導入のメリットを最大限に活かしながら、委託業務の安定的な運営を図るとともに、「ご遺族サポート窓口」の機能を充実し、ワンストップサービスの実施に取り組めます。



目標どおり達成

市民窓口の総合窓口化とアウトソーシングについては、委託事業者と協議、調整等を図りながら安定した運営に努めました。

また、「ご遺族サポート窓口」についても令和3年8月から本格運用を開始するとともに、「ご遺族サポートブック」を発行・活用し、ご遺族の状況に応じた案内をスムーズに行い、利便性の向上を図りました。